

# オリ・パラニュース 6



第1号

令和3年2月9日  
江戸川区立瑞江小学校

## 歌舞伎の体験をしました

12月21日（月） 3年生は、前進座の方をお迎えしオリンピック・パラリンピック教育の一環として歌舞伎体験をしました。

新聞紙で作った刀を使って、立ち廻り（刀を使った演技の型）をしました。色々な型があつて、なかなか難しかったようです。途中で、見得（みえ…一瞬体の動きを止め、首をぐるっと回してカッと目を見開く）もやってみました。

次は、鏡獅子の化粧から衣装を着付け、舞うところまで見せていただきました。鏡獅子の化粧はおしろいを塗り、隈取（くまどり）を描きます。その昔の芝居小屋の中は電気もなく薄暗いので、隈取で強調することによって顔を目立つようにしたことから起こったそうです。見得も動きを強調するために行われるようになりました。衣装を着付け、舞を見せていただきました。毛を回す「毛振り」は体全体を使って回すので、とても大変なのだということでした。

最後は代表2組、4人の子が舞台上で立ち廻りをしました。他の子は名前を呼んだり、拍手をしたりして、大向こうから応援をしました。

世界のグローバル化が進み、外国のことを知ることは大切なことです。そして、外国の方は日本文化についてよく知っているとのこと。私たちが日本の文化について知ること、体験することは、日本を知り、日本人としての誇りをもつことにつながるとお話をいただきました。



立ち廻りの型を見せていただきました



全員で立ち廻りを経験してみました。



おしろいを塗って、隈取を描いています。



衣装の着付けには、専門の方がいます。



豪快な毛振りを見せていただきました。



大向こうからの応援を受けて、代表児童が舞台上で立ち廻りを披露しました。